

高等学校 令和8年度

教科

国語

科目 小論文

教科：国語 科目：小論文

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 『志望理由書・自己PR完成ノート』『ステップアップ小論文』（第一学習社） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 小論文

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
<p>『志望理由書・自己PR完成ノート』</p> <p>【知識及び技能】 自分史という文章の特徴（回想・エピソード選択・時系列構成）を理解し、段落構成や接続語を適切に用いて文章を書いている。語句や文法、文体を適切に用いて、自分の経験を具体的に表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験の中から主題となる出来事を選び、その経験が自分にどのような影響を与えたかを考え、分かりやすく表現している。出来事と感情・気付きの関係を整理し、読み手に伝わる構成・表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身のこれまでの経験や成長の過程を振り返り、自分を客観的に見つめ直すことができる態度を身に付ける。経験の意味や価値を問い直し、よりよい在り方・生き方を模索しようとする姿勢を育成する。</p>	<p>【指導事項】 高校段階で自分史を書く意義を理解する。 「振り返り」と「自己分析」の違いを捉える ・大学生の自己分析例・総合型選抜用自分史抜粋の紹介 過去の経験を多面的に洗い出す 感情・価値観・判断理由に着目する ・ライフライン（人生曲線）作成 分析観点の提示・努力した場面・挫折・葛藤・選択を迫られた場面「なぜそう感じたのか」「何を大切にしたいか」を言語化する。</p> <p>【教材】 『志望理由書・自己PR完成ノート』 ・一人1台端末の活用 語句の意味・例文調べ、背景知識について調べる、意見交流</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 自分史という文章の特徴（回想・エピソード選択・時系列構成）を理解し、段落構成や接続語を適切に用いて文章を書いている。語句や文法、文体を適切に用いて、自分の経験を具体的に表現しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験の中から主題となる出来事を選び、その経験が自分にどのような影響を与えたかを考え、分かりやすく表現しているか。出来事と感情・気付きの関係を整理し、読み手に伝わる構成・表現を工夫しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身のこれまでの経験や成長の過程を振り返り、自分を客観的に見つめ直すことができる態度を身に付けているか、経験の意味や価値を問い直し、よりよい在り方・生き方を模索しようとする姿勢を身に付けているか。</p>	○	○	○	8
<p>●自己PR文</p> <p>【知識及び技能】 文章や話し言葉の特徴（目的・場面・相手に応じた表現）を理解し、語句や文法、構成の基本を踏まえて表現している。適切な語彙や表現技法（具体例、比喩、接続語など）を用いている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題や目的を踏まえ、自分の考えや感じたことを明確にし、相手に伝わるように内容や構成を工夫して表現している。書くことや話すことを通して、論理のつながりや説得力を意識して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表現活動に意欲的に取り組み、自分の考えを深めたり表現を改善したりしようとしている。他者の発言や作品を尊重し、助言や評価を自分の表現に生かそうとしている。</p>	<p>【指導事項】 ・自己PR文の役割・評価視点を理解する ・感想文・自分史との違いを知る。 ・自己の経験・特性を多面的に振り返る 「強み」となり得る要素を言語化する ・伝わりやすさを点検・改善する ・読み手の視点を取り入れる ・作成した自己PR文を進路活動へ生かす ・学びを言語化する</p> <p>【教材】 『志望理由書・自己PR完成ノート』 ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 文章や話し言葉の特徴（目的・場面・相手に応じた表現）を理解し、語句や文法、構成の基本を踏まえて表現しているか。適切な語彙や表現技法（具体例、比喩、接続語など）を用いているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題や目的を踏まえ、自分の考えや感じたことを明確にし、相手に伝わるように内容や構成を工夫して表現しているか。書くことや話すことを通して、論理のつながりや説得力を意識して表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表現活動に意欲的に取り組み、自分の考えを深めたり表現を改善したりしようとしている。他者の発言や作品を尊重し、助言や評価を自分の表現に生かそうとしている。</p>	○	○	○	9
<p>●志望理由書の作成</p> <p>【知識及び技能】 志望理由書の目的や構成（志望動機・学びたい内容・将来像など）を理解し、適切な語句や文章表現を用いて書いている。事実と意見を区別し、具体的な経験やエピソードを取り入れて表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味・関心や経験を踏まえ、志望先を選んだ理由を明確にし、学びたい内容や将来の目標とのつながりを意識して文章を構成する。読み手を意識し、志望先の特徴と自分の考えが結び付くよう表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己分析や進路調査に積極的に取り組み、下書きや推敲を重ねながら志望理由書をよりよいものにする。他者や教員からの助言を受け止め、表現の改善に生かす。</p>	<p>【指導事項】 ・志望理由書とは何かを理解する ・自己PR文との違いを捉える ・入試資料としての志望理由書の位置付け説明 ・良例・改善例の比較 ・自分の興味・関心・原体験を整理する 進路につながる要素を洗い出す ・志望先の特徴を具体的に把握する ・表層的情報と区別して整理する ・大学パンフレット・公式サイトでの読み取り</p> <p>【教材】 『志望理由書・自己PR完成ノート』 ・一人1台端末の活用 語句の意味・例文調べ、背景知識について調べる、意見交流</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 志望理由書の目的や構成（志望動機・学びたい内容・将来像など）を理解し、適切な語句や文章表現を用いて書いているか。事実と意見を区別し、具体的な経験やエピソードを取り入れて表現しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味・関心や経験を踏まえ、志望先を選んだ理由を明確にし、学びたい内容や将来の目標とのつながりを意識して文章を構成しているか。読み手を意識し、志望先の特徴と自分の考えが結び付くよう表現を工夫しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己分析や進路調査に積極的に取り組み、下書きや推敲を重ねながら志望理由書をよりよいものにしていくか。他者や教員からの助言を受け止め、表現の改善に生かそうとしているか。</p>	○	○	○	11

1
学期

